

NEWS LETTER

2021.04 特別号

緑星の里事業計画

と

SDGs 17 の目標

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

緑星の里は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

緑星の里

SDGsの取組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、国連サミットで採択された2030年までの国連目標です。

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、緑星の里の「支え合って共に生きる」という法人理念と共に通する考え方であり、今後は人口減少などの変化する社会にあっても地域で福祉サービスを持続していくために、SDGsの17のゴール（目標）の中から、主に私たちの事業計画と関連が深く注力すべき項目の施策を通じて、社会的課題の解決を支援し持続可能な世界を実現するため、SDGs目標達成に貢献していきます。



「支え合って共に生きる」



「誰一人取り残さない」

SDGs

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

2015年国連が採択した持続可能な開発のための2030年アジェンダ



「SDGs」ってなに？

これは、「エスディジーズ」と読みます。

Sustainable Development Goals (サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)

の略で、「持続可能な開発目標」という意味があります。

SDGsは、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摶性のある社会の実現」を目的に、2015年の第70回国連サミットにおいて、全会一致で採択され、2030年をめどとして、17の大きな目標と169の具体的なターゲットを定めたものです。

「SDGs」は何を目指しているの？

我々が今のような生産と消費を続けていけば、地球環境は人間にとっても、ほかの生物にとっても持続可能なものでなくなるという危機感と、あらゆる人々の人権を守るというふたつで、「地球を破壊から守ること」「誰一人取り残すこと」を柱として掲げています。

背景には、気候変動の影響が大きくなっていることと、格差や不平等の拡大が世界全体を不安定にしていることがあります。

こうしたことが続けば社会も地球も壊れ行くので、変革が必要であり、そのためめざすべきゴールがSDGsです。

2030年までに達成すべき目標として国連で採決されたのですが、国連加盟国の「こういう世界をめざしたい」という想いが、17のゴールと169のターゲットに込められています。

17の目標の中には、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「働きがいも経済成長も」など、福祉に関わるものも入っています。

SDGsは、我々が地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれないのです。

「SDGs」と「新型コロナ」の影響

国際協力や国内での助け合い、SDGsの取組みを進めるうえで2020年は試練の年となりました。

国連の「SDGs報告2020」によると、新型コロナの影響はSDGsの17の目標にさまざまな影響を及ぼしており、コロナ禍で世界全体では半年間に4億人分の仕事が失われ、外出自粛の影響で家庭内暴力が増え、教育や福祉の普及も停滞したとされています。5歳未満で亡くなる子供の数も数十万人増えるとの予測もあり、極度の貧困層が世界全体で7億人を超えると推計しています。

感染収束に期待されるワクチンの接種についても、開発途上国にどう公平に分配されるのかが課題となっています。

SDGsの目標達成のためにも、早期に新型コロナに負けない社会をつくることが必要です。

苫小牧市の「SDGs」への取組みは

苫小牧市は2019年度から、各種施策とSDGsの17の目標の関連付けに着手しました。その結果、最も多くの事業と結びついたのは、11番の「住み続けられるまちづくりを」で、以下3番の「すべての人に健康と福祉を」、4番の「質の高い教育を皆さんに」、8番の「働きがいも経済成長も」などが続いている。

所管する総合政策部は、「経済と環境、社会生活の両立をめざすSDGsの考え方は、これまでの市の事業を見直すきっかけにもなる。まずは府内での啓発に力を入れていきたい」と話しています。一方、市教育委員会はSDGsの目標の一つである「つくる責任 つかう責任」をテーマとした市民講座を開催、SDGsにちなんだテーマ設定は3年連続で、市民向けの啓発事業にも力を入れています。

緑星の里と「SDGs」

平成28年4月に社会福祉法の一部改正が行われ社会福祉法人の存在意義そのものが問われることになり、社会福祉法人はSDGsを視野に入れた事業展開をしていかなければならぬ時代となりました。

つまり、公益性を担保しながら「地域における公益的取組み」を通して持続的な地域共生社会を実現しなければならないからであり、こうした実践は当然、SDGsにつながると考えます。

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、緑星の里の「支え合って共に生きる」という法人理念と共通する考え方であり、今後は人口減少などの変化する社会にあっても地域で福祉サービスを持続していくために、SDGsを道しるべとして飛躍できる可能性が高いと期待させてくれます。

このように、世界中が一つとなって取り組んでいるSDGsの17の目標と法人の事業計画の一部を関連付けることにより、我々もSDGsの一翼を担っているという意識を持つことができます。

緑星の里のSDGsの取組みは、新しいものをつくるのではなく、これまでの取組みをSDGsのフレームで整理したものであり、我々のこれまでの取組みそのものがSDGsなのです。

SDGsへの取組みをアピールし支持を集めることができ地域社会に貢献することにつながり、結果的に法人の持続可能性を高めることになると考えます。

職員が一致協力して、地域から信頼される社会福祉法人としてその役割を果たしていきましょう。

令和3年4月

理事長 尾野 聖一

SDGsの17のゴール(目標)



1 貧困をなくそう	あらゆる場所、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
2 飢餓をゼロに	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
4 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
6 安全な水とトイレを世界中に	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
8 働きがいも経済成長も	すべての人のための接続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
10 人や国の不平等をなくそう	国内および国家間の格差を是正する
11 住み続けられるまちづくりを	都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする
12 つくる責任 つかう責任	持続可能な消費と生産のパターンを確保する
13 気候変動に具体的な対策を	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
14 海の豊かさを守ろう	海洋と海洋資源を持続可能な開発目標に向けて保全し、持続可能な形で利用する
15 陸の豊かさも守ろう	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供すると共に、あらゆるレベルにおいて効果的に責任ある包摂的な制度を構築する
17 パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

緑星の里事業計画とSDGs

令和3～5年度

緑星の里中期事業計画の基本指針とSDGs17の目標との関連性

緑星の里のSDGsの取組みは新しいものをつくるのではなく、これまで事業計画でおこなってきたものをSDGsのフレームで整理したものであり、法人の6項目の中期事業計画を項目別に分かりやすく5つの基本指針に分類してSDGsとの関連性を表示しております。

○ 社会福祉事業活動 ()内がSDGs17の目標の該当No.

1.人権の尊重とサービスの質の向上 (3・4)

2.生活環境・利用環境の向上 (3・11・17)

○ 地域貢献・社会貢献

3.公益的な取組みの推進 (3・11・17)

○ 多様な人材の育成

4.人材確保と人材の育成の充実 (4・8)

○ 働き方改革の推進

5.コンプライアンスの徹底とガバナンスの機能強化 (8・16)

○ 環境保全活動

6.健全な財務規律の確立 (7・12・13)

緑星の里が事業計画を通じて貢献する主要なSDGs目標



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

社会福祉事業活動

《具体的な取組み》の末尾()内がSDGs17の目標の該当No.

1 「人権の尊重とサービスの質の向上」

人権への理解をさらに深め、利用者の自己決定を尊重しつつ個人の尊厳に配慮した良質かつ安全・安心な福祉サービスの提供につなげる。

【重点目標】

- ① 利用者の意思決定支援を向上させるため、計画書の作成、モニタリング等に本人はもとより家族の参加を積極的に促し利用者の意思形成支援を充実させる。
- ② IT統制におけるパスワードと情報資産（ハードウェア、記録媒体等）の管理を徹底するとともに、定期的な職員教育を継続してIT統制規程の遵守を進めることにより、個人情報の管理を徹底する。
- ③ 各事業所の虐待防止委員会において毎年策定している年間防止計画の実践結果の報告会の内容を、全体で共有し、法人虐待防止委員会が各事業所で定期的に研修等を実施し虐待防止につなげる。

《具体的な取組み》

- ◇ ご利用者様やご家族様のご希望に合わせた信頼できる福祉サービスの提供に努めます。 (3)
- ◇ IT統制規程の定期的な研修を実施することにより、個人情報の管理徹底を図ります。 (4)
- ◇ 各種委員会活動や研修体制を充実させ、人権擁護の立場に徹する職員を養成していきます。 (4)

《関連するSDGsの目標》



3 「すべての人に健康と福祉を」

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

4 「質の高い教育をみんなに」

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

社会福祉事業活動

2 「生活環境・利用環境の向上」

気候変動による多様な自然災害に対応した事業継続計画に基づき、良質かつ安全・安心なサービス提供を実現するため、利用者の生活環境・利用環境の整備を進め、災害への対応力を強化する。

【重点目標】

- ① 策定されたBCP計画により大規模災害対応訓練を実施し、計画内容を検証し必要な修正を行う。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底するとともに、感染症対策におけるBCP計画に基づき発生時の対応訓練を定期的に実施する。
- ③ 施設の経年劣化が進み、屋上防水の更新などが必要なことから、法人全体で計画的に整備を実施し生活環境・利用環境の向上に取組んでいく。

《具体的な取組み》

- ◇ 地域との防災訓練の相互協力などを通した交流を深め、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域社会との共生を図る取組みを推進します。 (11・17)
- ◇ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底するとともに、感染症発生時の対応訓練を定期的に実施することにより、感染時の対応力強化に努めます。 (3)
- ◇ 一人一人の住まいとして、居心地がよく安全で快適な生活が送れるよう改修工事を進め、生活環境や利用環境の向上を図ります。 (11)

《関連するSDGsの目標》



3 「すべての人に健康と福祉を」

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

11 「住み続けられるまちづくりを」

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

地域貢献・社会貢献

3 「公益的な取組みの推進」

地域における福祉の多様なニーズに関係機関と連携して取組むことにより、共生社会の実現に向け法人の資源を活用した積極的な取組みを推進する。

【重点目標】

- ① 施設サービス利用対象外の障害児における早期療育（リハビリ）のニーズが高いことから、新しい生活様式の中での今後の取組みの継続について検討し、制度活用を視野に入れながら障害児を取り巻くネットワーク作りに関与していく。
- ② 社会貢献委員会が中心となり、苫小牧市東包括支援センターが沼ノ端地区で実施している地域食堂への関わり増やし、共生社会を見据え他の地域への展開について検討していく。

《具体的な取組み》

- ◇ 緑星まつりや各事業所の夏祭りなどを通して施設を開放し、地域に開かれた施設を目指します。 (11)
- ◇ 地域の小学校や中学校と定期的な交流をすることにより、福祉施設の実情を正しく理解してもらう取組みを進めます。 (11)
- ◇ 施設サービスの対象とならない障害児の療育相談や早期療育（リハビリ）指導に取組みます。 (3)
- ◇ 認知症による徘徊や散歩中に行方が分からなくなった際に、個人情報を外部の人に示すことなく個人を特定できる「緊急連絡キー‌ホルダー」システムを確立し、地域のセーフティネットづくりに努めます。 (3・11・17)
- ◇ 毎月定期的に地域の小中学校の登校時に交通安全の旗振り運動を実施し、挨拶の奨励や交通安全指導を通じて地域との共生を図る取組みを推進します。 (3・11)
- ◇ 地域包括支援センターが地域で実施している地域食堂の取組みをサポートすることにより、地域コミュニティの場作りを通して地域共生社会を推進します。 (11)

《関連するSDGsの目標》



3 「すべての人に健康と福祉を」

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

11 「住み続けられるまちづくりを」

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

多様な人材の育成

4 「人材確保と人材の育成の充実」

インターンシップ、職業体験を積極的に受け入れ人材確保につなげるとともに、人権、生活の多様性を意識した人材育成に取組み定着につなげる。

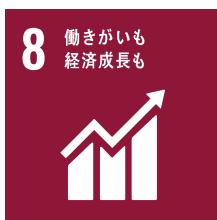
【重点目標】

- ① 人材確保が困難になっていく現状の中、Webを活用した筆記試験、面接試験を行い多様な採用活動を展開する。
- ② 学生の就職活動において在学早期からインターンシップの利用を促し、インターンシップの取組みを積極的に行い、学生にとって身近な福祉施設の存在にし人材確保につなげる。
- ③ 職員に対する法人内研修の内容を見直すとともに、各種学校の講義を通じて学生を含めた人材育成に取組み、人材の育成・定着とキャリアアップにつなげる。

《具体的な取組み》

- ◇ 高校や看護専門学校の社会福祉関係授業への講師派遣に積極的に協力し、次代を担う看護、福祉人材の養成に努めます。 (4)
- ◇ 福祉の各種資格取得を目指す職員を支援するため定期的に学習会や研修会などを開催し、優秀な人材の育成に努めます。 (4・8)
- ◇ インターンシップの取組みを積極的に行い、学生から評価される福祉施設となれるよう努力することにより、人材確保につなげます。 (8)

《関連するSDGsの目標》



4 「質の高い教育をみんなに」

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

8 「働きがいも経済成長も」

すべての人のための接続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

働き方改革の推進

5 「コンプライアンスの徹底とガバナンスの機能強化」

公正かつ透明性の高い適正な経営を可能にする実効性のある組織体制の構築と職員一人ひとりの高い倫理性を浸透させるとともにチェック・牽制機能の強化を図る。

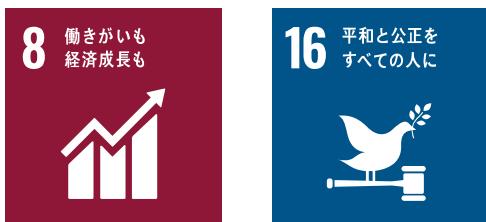
【重点目標】

- ① 労務管理システムを導入し業務効率化を図るとともに、働き方改革に適切に対応し関係労働法令を遵守する。

《具体的な取組み》

- ◇ 労務管理システムを導入し業務効率化を図るとともに、働き方改革に適切に対応した職場環境づくりを推進していきます。 (8・16)
- ◇ 有給休暇の計画的な利用を促進し、取得率の向上に努めます。 (8・16)
- ◇ 65歳の定年後も70歳まで働くことができる体制の整備を進めます。 (8・16)

《関連するSDGsの目標》



8 「働きがいも経済成長も」

すべての人のための接続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

16 「平和と公正をすべての人に」

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

環境保全活動

6 「健全な財務規律の確立」

公益性に根差した事業活動を可能とするために、自然資源の効率的な利用を推進し経費削減に努めるとともに、循環・リサイクルを意識した消費に努める。

【重点目標】

- ① 令和3年度の制度改正並びに報酬改定について事業部ごとに分析検討を実施し、改正された算定基準を遵守するとともに安定した報酬確保につなげる。
- ② 陽明園で導入したIT機器を活用した電力使用の見える化を進め、不要な照明の消灯や施設の照明のLED化を図るとともに、電力自由化が浸透してきていることから新電力の活用を検討し経費削減につなげ収支の向上を進める。

《具体的な取組み》

- ◇ IT機器を活用した電力使用の見える化を進めるとともに、新電力の活用を検討し経費節減につなげ電力の削減に努めます。 (7・12・13)
- ◇ 不要な照明の消灯や施設の照明設備のLED化を進め、省エネ対策に努めます。 (7・12・13)

《関連するSDGsの目標》



7 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへの
アクセスを確保する

12 「つくる責任 つかう責任」

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

13 「気候変動に具体的な対策を」

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



SDGsとともに